
ひまわり

ゆーき

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひまわり

【Nコード】

N0262BA

【作者名】

ゆーき

【あらすじ】

大学生が大人との恋に落ちる

出会い

プロローグ

貴女と出会ったのは……

偶然なのか……

奇跡なのか……

運命なのか……

出会うことがないはずの貴女に

僕は出会った……

大人な貴女は純粹でまっすぐな笑顔……

ひまわりのような笑顔……

貴女の本当を知るまでは……

貴女が何を思い……考え……

生きているのか……

僕は知りたくなった……

貴女の言葉を知りたくなった……

第一章

僕が貴女を知ったのは

大学2年の夏……

本当は前から知っていたが

貴女と話を初めてした時……

貴女を知った

バイト先の休憩で休憩室に行くと

貴女は泣いていた……

僕の知ってる貴女は……

いつも笑って……

みんなを笑顔にさせる貴女

離婚して子供を育てる貴女を

強い人だなと思っていた……

泣いてる貴女は僕のがきたことに気付くと

顔をあげて僕に恥ずかしそうに

「誰にも言わないでね」

と笑った……

その笑顔はとても子供みたいで

抱きしめたい気持ちになった……

僕はとっさにうなずいた

「ありがとう……」

貴女は顔を下に向けて言った

泣くのを堪えるように……

僕は貴女の涙を知りたくなった……

貴女に少し近づく

「おはようございます」

貴女がいつものようにお店に入ってくる

僕は少し頭を下げた

「元気？」

貴女は少し微笑みながら僕の顔をみている

「元気ですよ…」

「ならよかった」

貴女はいつもと同じように仕事を始めた

昨日泣いていた貴女は今日はいなかった

僕は少し寂しかった…

たまたまその日は僕ともう1人と貴女は休憩が一緒になった…

「ちかさん休憩一緒だからどっか食べに行こうよ」

もう1人のバイト仲間、雄平が貴女を誘っていた

「うーん…いいよ！ 田沼くんも行く？」

貴女は僕に笑いながら誘ってきた

「別にいいよ」

僕が言っていると貴女はちょっとクスツと笑いながら

「決まり」

と言って仕事を始めた…

「それじゃ休憩行つて！」

店長が僕らに言った

僕らは近くのファミレスに行くことにした

「田沼…お前何たべんの？」

「ホットケーキー！」

「君はお子ちゃま！？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0262ba/>

ひまわり

2011年12月31日20時52分発行